

弘前市国際関係業務の方向性（2019年度～2022年度の重点的なターゲット国について）

基本的な考え方

- 訪日外国人観光客数が急激に増加しており、2018年には3千万人を超える、当市を訪れる外国人観光客も増加傾向にある
- 高度情報化・グローバル化が進展することより、国際的な人・モノの移動がさらに活発化していくものと予想される

これを踏まえ、当市としては

- 海外との交流や外国人観光客の誘致、農産物や物産等の輸出など海外展開について、2019年度に策定された当市の新しい総合計画を踏まえ整理。
- 当市として重点的に取り組んでいく国・地域を絞りこみながら、その他の国については県等関係機関と連携しながら取組を進めていく

欧米（特にフランス・ドイツ）

【観光】

- フランスは、これまでシードルを中心とした連携を進めてきたブルゴーニュ・アン・ノーヌと連携
- ドイツは、欧州一の経済大国であり世界第二の海外旅行者数を誇る
⇒フランス語・ドイツ語の観光パンフレットを作成するとともに、誘客の方針を検討し、県等関係機関と連携しながら誘客に取り組む

【りんご】

- ⇒市内でのシードル醸造希望者がフランスでの技術指導を希望した場合、視察先等の仲介を行う

東アジア

【観光】

- 青森空港に中国及び韓国からの定期便が就航
- 本県（市）の国別外国人宿泊者の上位を常に占めている
⇒県等関係機関と連携しながら、プロモーションや受入環境の整備などを実施

中国

【文化】

- 2016年に武漢市と友好交流協議書を締結
⇒桜を通じた交流を実施

台湾

【観光】

- 台北－青森空港の定期便が今年7月から就航
- 本県（市）の国別外国人宿泊客の上位を常に占めている
⇒台湾を最重点のターゲットとして、プロモーション等により誘客を実施

【りんご】

- 過去3年の国産りんご輸出量の全体のうち台湾が約7割となっている
- 台湾は親日国かつ青森りんごの人気が非常に高い
⇒毎年、台湾の大手百貨店及びスーパーで開催している、りんご等のフェアを実施するとともに、新たな購入層を取り込むためのPR手法を検討

【文化・スポーツ分野】

- 2017年に台南市と友好交流に関する覚書を締結
⇒共通の伝統文化（『津軽三味線』と『月琴』『獅子舞』など）を通した文化交流を実施
⇒『アップルマラソン』と『台南古都国際マラソン』などを通したスポーツ交流を実施
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う台湾のホストタウン
⇒台湾女子ソフトボールチームの強化合宿を受入（2017年度～）

その他

【産業】

- 日本市場が縮小傾向にある一方、東アジア・東南アジアを中心とする海外市場は成長を続けている
- 県では「青森県輸出・海外ビジネス戦略」において、短期的には東アジア及び東南アジアへの農林水産品及び工業製品の輸出に取り組むほか、欧米への輸出や輸出以外の海外ビジネスについては、中長期的な視点で取り組みを続けることとしている
⇒県事業とも連携を密にしながら、市内事業者の輸出・海外ビジネスに関する機運の醸成や輸出・海外ビジネスにチャレンジする市内中小企業等の増加・向上を図る
- ・りんごジュース（重点国：台湾、香港、タイ）
- ・日本酒及びその他加工品（重点国：台湾）
- ・工業製品のうち工芸品・インテリア商品（重点国・地域：東アジア、東南アジア、欧州（特にフランス））

ベトナム

【りんご】

- 国産りんご輸出量は、台湾、香港、タイに次ぎ、ベトナムが4位
- ベトナムは年々輸出量が増大しているとともに、市は現地財閥系企業（スーパー・マーケットも運営）との繋がりを有する
⇒輸出の拡大に向け、現地財閥系企業との関係性を有効活用できないか検討

タイ

【観光】

- タイ旅行業協会と協定を締結
⇒同協会と連携してプロモーションを実施

シンガポール

【教育】

- シンガポールはアジアでは英語力が上位の国であるとともに、治安が良い
- 多民族国家であることから、多様性等を受け入れることの重要性を肌で感じ取ることができる
⇒市内の中学生から派遣生徒を選抜し、シンガポールに派遣（2020年度以降の派遣先については検討中）

ブラジル

【スポーツ】

- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う
ブラジルのホストタウン
⇒ブラジル視覚障がい者柔道チームの強化合宿を受入（2017年度～）